

人として

筑後市社会福祉協議会 / 広報

4月号
449号

筑後市社会福祉協議会
(〒833-0032 筑後市野町680-1)
TEL 52-3969
FAX 53-6677
mail info@chikugo-shakyo.or.jp
URL http://www.chikugo-shakyo.or.jp

私たちの手で 私たちのまちを 福祉のまちに ... それが社会福祉協議会の目標です。

ふれあいひろば ~誰もが安心できる居場所~



「羽犬塚元気たい」による
シャボン玉づくり



子ども服がたくさん
ゆずりっこ



読書の会「べえじ」による
楽しいお話し会



子育て世代を食で応援!
食品配布



色んな物を手作りしよう
モール工作



和(なごみ)による
群読・読み聞かせ



「楽しかった!」「映画を通して多様性の大切さを感じました」等の感想が寄せられました。

この日は、写真で紹介しているイベントの他、アニメ映画「おまえうまそうだな」の上映や、障害福祉事業所等による物販なども開かれました。

3月11日(土)、第38回ふれあいひろば」が開催されました(会場:筑後市総合福祉センター、主催:筑後市ボランティア連絡協議会)。
「いつでも気軽に、総合福祉センターを多世代が集える場所に」をテーマに、大人も子どももふれあい安心できる居場所にしたと企画されました。当日はたくさんの親子連れの姿がありました。

この広報紙は、点訳・音訳の広報も発行しています。希望の際は気軽にお尋ねください。

ふくおか・
筑後きょうだい会



知ってほしい、きょうだいの気持ち

助言や支援が欲しいわけじゃない。
理解してほしいだけ。

ふくおか・筑後きょうだい会は、障害のある人の兄弟姉妹の会です。「他ではなかなか話せないことも、ここならすぐに分かってもらえる」と、2か月に1回のペースで定例会を実施しています。きょうだいの声を紹介します。

自分の感情を表現したかった。

でも、できなかった。

「〇〇ちゃんの妹さん」に
「私を見てよ!」と思った

●一番しんどかったのは小中学生の頃。だけど、当時はしんどさを表現できる言葉の引き出しがなかった。大人になり、ようやく振り返る力を持つようになった。(弟に知的障害)

●小さい頃、「〇〇ちゃんの妹さん」と言われることが多かった。「私にも名前がある!」「もっと私のことを見て!」と思っていた。

(姉に知的障害)

●思春期の頃は周りの目が気になり、姉と一緒にいるのを避けていた。両親が『一緒に出かけよう』と言ってもイヤでイヤで仕方なかった。そして、イヤに感じる自分に自己嫌悪を感じていた。(姉に知的障害)

●家族で外出し、妹の車イスを押していたら、『面倒臭いお兄ちゃんだね』などと言われていた。反発心しかなかった。僕自身の感情表現をしたかった。でも出来なかった。

(妹に身体障害)

地域デイサービスボランティア交歓会
—筑後北校区福祉会—



3月8日(水)、筑後北校区で「地域デイサービスボランティア交歓会」が開かれました(主催:筑後北校区福祉会)。

まず最初は研修会。「住み慣れた地域で楽しく過ごすために」をテーマに、ノーリフティングケア(抱え上げない介護)と、スウェーデンで開発された楽器「ブンネ」の紹介がありました。

その後、3つの行政区から日ごろの地域デイサービスに取り入れている体操やダンスなどを披露しました。コロナ禍で地域での活動の難しさがありますが、知恵と情報を共有し合える貴重な機会となりました。

みんなの幸せを考える仕事
—水田小学校3年生に職員が授業—



「水田校区の自慢を知ろう」。そんな学習の一環として、水田小学校の3年生に社協職員が授業を行いました(3月7日(火))。

テーマは「総合福祉センターについて」。職員からは「総合福祉センターでは『みんなの幸せを考える仕事をしています』『皆さんも幸せになってほしい。困りごとがあったら『困った』と言っていいんですよ』と説明しました。

子どもたちからは「困っている人がいたら助けられる人になりたい」という感想や、「意思疎通が難しい人とコミュニケーションを取るには?」という質問などが出されました。

ふくおか・筑後きょうだい会に

※障害のある人の兄弟姉妹の会です **入会しませんか？**

次回定例会（会場 筑後市総合福祉センター）

● 4月16日（日）14:00～16:00（参加費 100円）

問合せ ●ふくおか・筑後きょうだい会



MAIL chikugo_kyoudai@yahoo.co.jp

●筑後市社会福祉協議会 TEL 52-3969

精神障害のある人と家族のための

ひまわりのつどい

とき 4月15日（土）10:00～12:00

会場 筑後市総合福祉センター

内容 茶話会・交流会・計画作り

申込み 筑後市社会福祉協議会

TEL 52-3969

Mail info@chikugo-shakyo.or.jp

気軽にお立ち寄りください

精神障害のある人のための居場所・交流スペース

かたる～むの4月の予定

とき 4月14日・28日（金）

13:30～15:00

★予約不要・時間内出入り自由

ところ 筑後市総合福祉センター（野町 680-1）

問合せ 筑後市社会福祉協議会

TEL 52-3969 FAX 53-6677

Mail info@chikugo-shakyo.or.jp

筑後福祉レクリエーションサークルに参加しませんか？

レクリエーションの学習や用具の製作、ボランティア同士の交流・情報交換などをしています。

定例会の予定（*参加費 100円）

- ① 4月3日 ② 5月8日 ③ 6月5日 ④ 7月3日
 ⑤ 8月7日 ⑥ 9月4日 ⑦ 10月2日 ⑧ 11月6日
 ⑨ 12月4日 ⑩ 1月22日 ⑪ 2月19日 ⑫ 3月4日
 いずれも月曜日、時間は 13:30～15:30

会場 筑後市総合福祉センター

★問合せ 筑後市社会福祉協議会 TEL52-3969 ★

●父が病気になる、親亡き後の状況
 ●同じ立場の人が周りにおらず、自分の事や姉のことを誰にも話せなかった。
 （姉に知的障害）
 ●姉や家族への思いは、親には言えない。友達にも言えなかった。だから、きょうだい会で、同じ目線で語れるのはうれしい。（姉に知的障害）
直面する親亡き後。
将来に向けてどう過ごす？

「アドバイザーや支援が欲しいわけではない。理解してほしいだけ」という話も。「支援者よりも理解者」。問われているのは、きょうだいではない人たちのかもしれません。
 「アドバイザーや支援が欲しいわけではない。理解してほしいだけ」という話も。「支援者よりも理解者」。問われているのは、きょうだいではない人たちのかもしれません。
 ●びっくりするほど兄との思い出がない。僕と兄の関係性を語る大人もいない。単純に寂しいと感じる。これから兄とどう過ごしていけばいいのだろうか。
 （兄に知的障害）
 ●びっくりするほど兄との思い出がない。僕と兄の関係性を語る大人もいない。単純に寂しいと感じる。これから兄とどう過ごしていけばいいのだろうか。
 （兄に知的障害）
 ●びっくりするほど兄との思い出がない。僕と兄の関係性を語る大人もいない。単純に寂しいと感じる。これから兄とどう過ごしていけばいいのだろうか。
 （兄に知的障害）
 ●びっくりするほど兄との思い出がない。僕と兄の関係性を語る大人もいない。単純に寂しいと感じる。これから兄とどう過ごしていけばいいのだろうか。
 （兄に知的障害）

野菜を使ったレシピ集の寄贈 —JAふくおか八女 女性部—



3月14日（火）、JAふくおか八女女性部様から野菜を使ったレシピ集をご寄贈いただきました。

以前より、よらん野様の協力の下、ひとり親家庭への野菜の配布（グリーンフードパントリー）を行っています。その野菜をより美味しく食べてほしいとの思いから、レシピ集の作成・寄贈にいたったものです。レシピ集は食を通した福祉活動の中で、活用させていただく予定です。

昨年11月には、食品を寄付していただいております。継続した協力をしていただいております。

なお、同女性部では、新会員を募集中とのこと。農家の方も、農家ではない方も、年齢を問わず大歓迎だそうです。

社会福祉事業資金寄付

★ 香典返し寄付の部 ★

野田昌宏様	(故)幸子様	羽犬塚
田村孝義様	(故)美恵子様	
山崎玖美子様	(故)光一様	寛元寺
若菜恵里子様	(故)春喜様	野町
大久保理恵子様	(故)勝江様	鶴田
長岡マスエ様	(故)毅	尾島
中村香代子様	(故)一孝様	鷲寺
江崎禮子様	(故)木廣様	久富
井本サナミ様	(故)吉孝様	島田
塚本悌二郎様	(故)明子様	中牟田
角浩子様	(故)吉田澤様	上町

★ 一般寄付の部 ★

○新春・筑後市出発式「新春のつどい」実行委員会様から現金の寄付がありました。

★ 計 三七三、八八四円

善意奉仕銀行寄付

● 預託の部 (物品口座)

- 匿名様からお米の寄付がありました。
- 匿名様からお米と赤ちゃん用オムツの寄付がありました。
- 野田製菓様(八女市)から黒棒の寄付がありました。
- 立山康弘様(和泉中)から野菜の寄付がありました。

ひとり親家庭を応援します！

★食料品を無料で配布します！

お米、インスタント食品等を配布します。必要な方はお気軽にお申込みください。なお、数が限りがあります。

今から**事前申込が必要**です！

4月5日(水)12時～4月10日(月)

17時の間にQRコードから読みとり申込みください。(期間内でも、定数に達し次第受付終了)



対象 平成13年4月2日以降生まれの子がいるひとり親家庭

配布日 4月11日(火)・12日(水) 16時～18時

配布場所 筑後市総合福祉センター

問合せ 筑後市社会福祉協議会 TEL 52-3969
mail info@chikugo-shakyo.or.jp

★グリーンフードパントリー
(野菜の無料配布)も
好評実施中！

*詳細はコチラ ⇒⇒⇒



お知らせ

今回の**子育て世代を食で応援プロジェクト**は、**5月に実施予定**です。



詳細は次号にてお知らせします。

○匿名様から紙オムツの寄付がありました。
○haoo.エム様(志)から消毒液の寄付がありました。
【いずれも2月1日～2月28日まで】

ひきこもり家族相談会

◎と き：4月20日(木)13:00～16:00
(毎月第3木曜日13:00～16:00実施)

◎ところ：筑後市総合福祉センター

- ・相談希望の方は、4月13日(木)17時までにご予約ください。(1日限定3組)
- ・原則、来所での相談となります。
- ・匿名での相談も可能です。

問合せ・予約は筑後市社会福祉協議会へ
TEL：52-3969 FAX：53-6677

事務局通信

近所のスーパーにて。小学生の娘たちが「ジュースを買いたい」と言うので、店内で別行動になりました。そして数分後、ジュースコーナーへ行ってみると・・・
娘たちと高齢の女性が、双方で困った顔してるーそして、娘たちは黙り込んでいます！
話を聞けば、子どもだけで買い物にきていると思ったらしく、心配して声をかけてくださったようでした。
「気にしていただき、ありがとうございます」とお礼を言い、この女性と別れた後、娘たちに「なぜ黙ってたの？」と尋ねると、「何をしゃべってるか分からなかった」と。
それを聞いてハツとする。
仮に本当にトラブルがあり、声をかけてもらっても、何しゃべってるか分からない、ということ？
我が家は夫婦とも県外出身。筑後の方言は、子どもにとって馴染みのない言葉です。加えて、世代によって言葉が違うのも当然です。
だから多世代交流や移住者交流が大事なのか、と感じた瞬間でした。
言葉を含ませる作業が支え合いの土壌になっていく。そんなことを学んだ出来事でした。(善)

心配ごと相談 毎週木曜日、午後1時から午後4時まで、福祉センター相談室で行っています。秘密厳守で対応します。